

株式会社INPEX

2021年12月期 第2四半期 決算説明会

2021年8月11日



- 事業活動報告
- 2021年12月期 第2四半期 決算説明
- 2021年12月期 業績予想

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

事業活動報告

INPEX

代表取締役社長
上田 隆之

第2四半期決算 (2021年1月～6月)	連結売上高	4,983億円 (前年同期比27.2%増)
	親会社株主に帰属する純利益	519億円 (前年同期比1,727億円増)
	ネット生産量 (原油換算)	日量52.8万バレル (前年同期比9.3%減)
通期業績予想 (2021年12月期)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 連結売上高：11,340億円 (前期比47.1%増) ■ 親会社株主に帰属する純利益：1,700億円 (前期比2,816億円増) <p>* フリーキャッシュフロー (イクシス下流事業会社を含む) : 3,200億円</p>	
1株当たり配当金 (2021年12月期)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中間20円、期末20円 (予想)、年間40円 (予想) 	
プロジェクトハイライト	<ul style="list-style-type: none"> ■ イクシスLNGプロジェクト：計画シャットダウンメンテナンス完了 ■ アバディLNGプロジェクト：LNGプラント建設予定地及びその周辺における詳細サーベイ作業の中断中 ■ アブダビ油田：2021年5月にアブダビBlock4の掘削作業を開始 ■ 国内天然ガス事業：約11.4億立方メートルの天然ガスを上半期に販売 	
ネットゼロカーボン社会 に向けた取組みの ハイライト	<ul style="list-style-type: none"> ■ アブダビにおけるクリーン・アンモニア生産事業の事業化可能性に関する共同調査契約の締結 ■ 国内においてカーボンニュートラルガスの売買契約締結 ■ イクシスLNGを用いたカーボンニュートラルLNGの供給および直江津LNG基地での受け入れ ■ 新潟県阿賀野市におけるCO2を用いた原油回収促進技術の実証試験に向けた共同研究の開始 ■ 当社が参画するコンソーシアムが長崎県五島市沖の洋上風力発電事業の選定事業者に決定 	

オーストラリア

イクシスLNGプロジェクト（生産中）

- メンテナンス作業
 - 2021年5～6月にかけて計画シャットダウンメンテナンスを実施。
- 生産状況/出荷カーゴ数
 - シャットダウンメンテナンス期間中の出荷減があったものの、安定的な生産を継続。
 - LNGカーゴ：47カーゴ（2021年1月～6月）
 - 2021年度も月10LNGカーゴ程度の出荷を見込む。

期間	LNG	陸上コンデンセート	海上コンデンセート	LPG
2018年10月～2019年3月	31	4	10	6
2019年4月～2019年12月	84	16	23	23
2020年1月～2020年12月	122	22	34	34
2021年1月～2021年6月	47	9	13	13
生産開始からの累計出荷カーゴ数	284	51	80	76

- OPEX(操業費)
 - イクシスの生産コストは、他の当社生産プロジェクトと比較して競争力のある水準。
- 生産井掘削作業
 - 19坑目の掘削作業完了。現在、20坑目の掘削作業中。
- 陸上ガス液化プラントの建設等請負業者との係争（5月12日に開示）
 - 係争が継続中。今後、開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせする予定。
- 周辺探鉱区
 - イクシスLNGプロジェクト周辺には17の探鉱区を保有。
 - これまでに、クラウン、ラセター、ミア、バーンサイド等のガス構造を発見し、これらのガス構造は少なくとも9鉱区に亘る。
 - 従前よりダーウィンに複数の追加トレインが建設可能な用地確保済。



陸上ガス液化プラント
(ダーウィン)



Central Processing Facility
(オーストラリア沖合)



FPSO
(オーストラリア沖合)

インドネシア

アバディLNGプロジェクト（開発準備中）

- 生産規模
 - 天然ガス総生産量（LNG換算）年産1,050万トン
 - ・ LNG年産950万トン規模
 - ・ 鉱区周辺地域の現地需要向けにパイプラインガス日量1億5千万立方フィート供給を予定
 - コンデンセート日量最大約3.5万バレル規模
- 契約期間
 - 1998年11月16日～2055年11月15日
 - 2019年10月、生産分与契約（PSC）の期限を2028年から2055年とする延長契約等を締結
- マイルストーン
 - 2017年6月、インドネシア政府からNational Strategic Projectに、同年9月にはPriority Infrastructure Projectに認定
 - 2019年7月、陸上LNGによる開発を前提とした改定開発計画（POD）についてインドネシア政府当局の承認を取得
 - 2020年2月、インドネシア国営電力会社および国営肥料会社との間で、インドネシア国内向けのLNGおよび天然ガスの長期供給に関する覚書を締結
 - 2020年12月、インドネシア国営ガス会社との間で、インドネシア国内向けのLNGの供給に関する覚書を締結
- 今後の予定
 - 新型コロナウイルス感染拡大の影響によりLNGプラント建設予定地及びその周辺における詳細サーベイ作業を中断中
 - 今後は、CCS/CCUSの導入等、外部環境の変化に対応したプロジェクトの実現方策について検討予定
 - イクシスで獲得した知見・経験を活かした効率的な開発を推進

アブダビ

アブダビ陸上鉱区（生産中）

- 進捗
 - 日量200万バレルの生産能力を達成済。更なる増産計画を検討中。

アブダビ海上油田（生産中）

- 目標生産能力
 - 上部ザクム油田：日量約100万バレル
 - 下部ザクム油田：日量約45万バレル
 - サター油田：日量約2.5万バレル
 - ウムアダルク油田：日量約2万バレル
- 進捗
 - 4油田合計の生産能力を日量150万バレルに引き上げるべく開発作業中
 - 下部ザクム油田においては、アセットリーダーとしてADNOC（アブダビ国営石油会社）及びパートナー各社と密接に連携し、主導的な立場で開発作業中

アブダビ陸上Block 4（探鉱中）

- 進捗
 - 2019年、探鉱鉱区公開ラウンドにてオペレーターとして単独で落札
 - 2021年5月、掘削作業を開始



アブダビ陸上鉱区



アブダビ海上油田

日本

国内天然ガス事業（生産中）

- 天然ガス販売量（1m³当たり41.8605MJ換算）
 - 2020年12月期販売量：20.7億m³
 - 2021年12月期販売量見通し：21.5億m³
- 直江津LNG基地
 - 2013年12月、直江津LNG基地の商業運転開始
 - 2016年6月、富山ライン完成
 - 2018年10月、イクシスの第1船（パシフィック・ブリーズ）が入港
 - 2019年2月、イクシスからピアニック・ブリーズが初入港

ユーラシア

カシャガン油田（生産中）

- 進捗
 - 日量37万バレル達成済。生産日量45万バレルを目指し作業中

ACG油田（生産中）

- 進捗
 - 2019年12月、累計生産量500百万トン（37億バレル）を達成

米州

米国シェールオイルプロジェクト イーグルフォード（生産中）

- 進捗
 - 原油生産量：日量0.3万バレル（6月平均、当社権益分）
 - シェール事業の特性を活かし、油価動向に応じた作業計画の最適化を実施中
 - 2020年前半油価下落時、2021年油価上昇局面では、それぞれ投資先送り、投資前倒しにより、開発計画最適化を遂行

ルシウス油田、ハドリアンノース油田（生産中）

- 進捗
 - 原油生産量：日量4.1万バレル（6月平均）
 - 2021年2月、ExxonMobil社保有権益の一部を追加取得



直江津LNG基地
（新潟県）



越路原プラント
（新潟県）

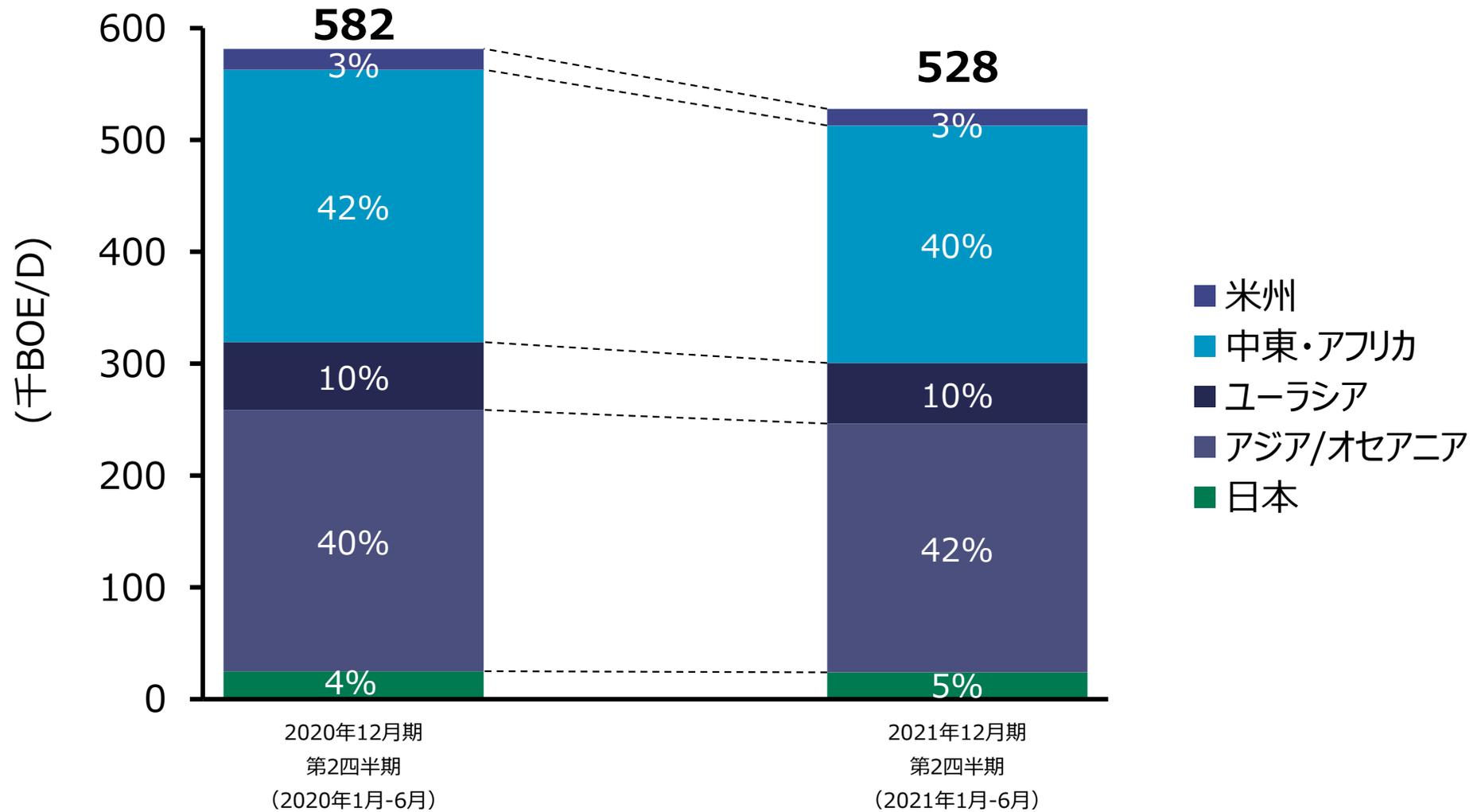


ACG油田
（アゼルバイジャン）



イーグルフォードの掘削現場
（米国）

■ 上半期ネット生産量の主な減少要因は、イクシスLNGプロジェクトの計画シャットダウンメンテナンス。



* 2021年1～6月のネット生産量。当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの生産量は、正味経済的取分に相当する数値。

当社の気候変動対応目標

2050	2030	Scope3の低減
絶対量ネットゼロ (Scope1+2) *1	原単位30%以上 低減*2 (Scope1+2)	バリューチェーン全体の課題として、関連する全てのステークホルダーと協調し取組みを進めます

*1 当社権益分

*2 2019年比

上流事業のCO2低減 (CCUS推進)

CO2EOR実証

- 2021年4月、新潟県阿賀野市における二酸化炭素 (CO2) を用いた原油回収促進技術 (EOR) の実証試験に向けたJOGMECとの共同研究を開始

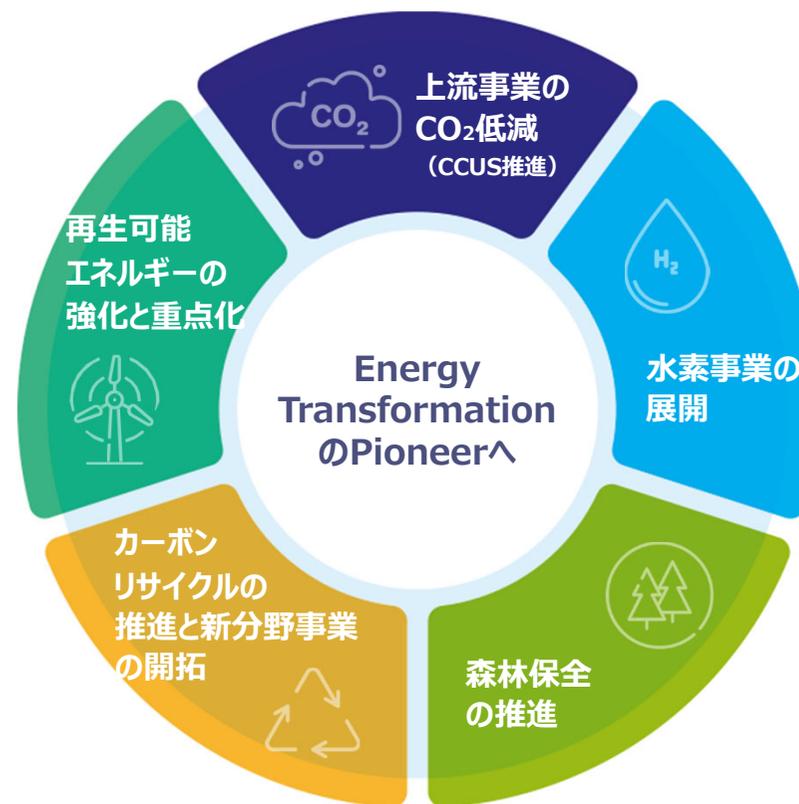
イクシスLNGプロジェクトでのCCS検討

- 当社がオペレーターとして操業するイクシス液化基地にて、天然ガスから分離されるCO2の圧入・貯留の可能性を検討、今後、適切な候補地の選定・評価作業を実施予定

カーボンニュートラルガス販売

- 2021年5~7月、日本海ガス、桐生瓦斯及び上越市ガス水道局とのカーボンニュートラルガス売買契約締結
- 2021年7月、イクシスLNGを用いたカーボンニュートラルLNGの供給及び直江津LNG基地での受け入れ

ネットゼロカーボン社会に向けた5つの事業の柱



カーボンニュートラルLNGを積んで直江津LNG基地に到着した「Symphonic Breeze」

水素事業の展開

新潟県柏崎市での水素製造・利用一貫実証プロジェクト構想

- ▶ 天然ガスを水素とCO2に分離し、CO2を地下に還元し、更なる資源量を確保すると同時に天然ガスをカーボンフリーな水素として供給するビジネスモデルの実証を計画。
- ▶ また、水素の一部を利用してブルーアンモニアを製造。一般的な大規模アンモニア製造方法であるハーバー・ボッシュ法よりも低温・低圧での新たな製造方法を検証予定

アブダビクリーンアンモニア事業

- ▶ 2021年7月、ADNOC（アブダビ国営石油会社）、JERA、JOGMECとの間でアブダビにおけるクリーン・アンモニア生産事業の事業化可能性に関する共同調査契約を締結
- ▶ 生産時に排出されるCO2を当社が参画するアブダビ陸上油田にてCO2 EORに利用することで、CO2排出量を大幅に抑制したクリーン・アンモニアを日本に供給することを目指す

海外でのカーボンフリー水素事業

- ▶ 海外での水素の自主開発を目指すとともに、水素液化・出荷事業への参加を検討中

再生可能エネルギーの強化と重点化

地熱発電事業（インドネシア）

- ▶ インドネシア サルーラ地熱IPP事業に参入し、2018年5月から商業運転中

地熱発電事業（秋田県）

- ▶ 秋田県湯沢市小安地域での地熱発電所建設へ向けた環境アセスメントの継続実施、2020年に一斉噴気試験実施、現在評価中

浮体式洋上風力発電事業（長崎県）

- ▶ 長崎県五島市沖における浮体式洋上風力発電事業実施に向けたコンソーシアムに参画、2021年6月に選定事業者に決定

着床式洋上風力発電事業（秋田県）

- ▶ 2020年5月、秋田県能代市、三種町、男鹿市沖の着床式洋上風力実施に向けたコンソーシアムに参画し公募入札中



アブダビクリーン・アンモニア生産事業の共同調査契約署名式



サルーラ地熱発電事業



浮体式風力発電事業のイメージ
(西山芳一氏撮影)

カーボンリサイクルの推進と新分野事業の開拓

メタネーション

- NEDOのCO2有効利用技術開発事業としてCO2と水素からメタンを合成する試験設備を設置、各種試験運転を実施し、6月末に完了
- 2030年を目途に商用化を目指し、段階的にスケールアップを行う予定

人工光合成

- 人工光合成化学プロセス技術研究組合（ARPCChem）に2012年の発足当時より参画
- ARPCChemのメンバーとして豪州の北部準州ダーウィン市においてソーラー水素生成試験設備設置を主導、有効性検証中

ドローン事業

- 2021年2月、テラドローン株式会社に出資。INPEX-Terra Drone Intelligent Drone構想の実現に向け協業中

スタートアップとの協業

- Plug and Play社との間で、エネルギー分野におけるスタートアップとの協業促進を目的としたメンバーシップ契約を締結

森林保全の推進

Rimba Raya REDD+プロジェクトの支援（インドネシア）

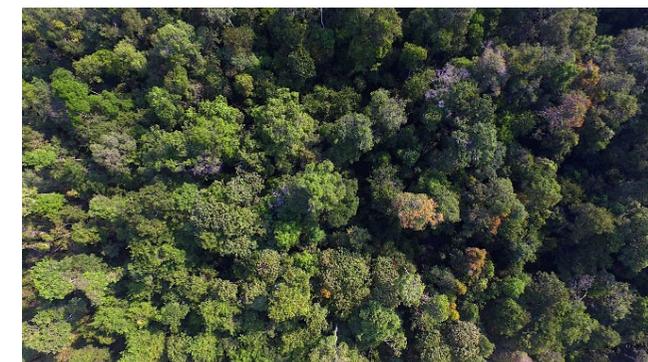
- 2021年2月、今後5年間で500万トンのカーボンクレジットを取得することをInfiniteEARTH社と合意。オランウータン保護のための3つのリリースキャンプ建設を支援中（適地選定のフィールドサーベイ終了）



ダーウィンに設置されたソーラー水素パネル



INPEX-Terra Drone Intelligent Drone構想のイメージ



インドネシアRimba Raya REDD+プロジェクト地域の森

	中期経営計画1年目～3年目（実績） 2019年3月期、2019年12月期、2020年12月期	中期経営計画4年目（見通し） 2021年12月期
事業目標（1） 石油・天然ガス 上流事業の 持続的拡大	<ul style="list-style-type: none"> ■ イクシス：迅速かつ着実なランプアップの達成、安定生産を継続 ■ アバディ：FEEDに向けた取組みを実施 ■ アブダビ：生産能力の増強に向けた作業を継続 ■ 探鉱：アブダビ、イラク、ノルウェー、メキシコ湾等における探鉱活動の推進と、優先エリアにおけるスタディの継続及び新規探鉱鉱区の取得（アブダビ、オーストラリア、ノルウェー） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ イクシス：安定操業の継続、技術・プロジェクトマネジメント面での知見・経験を蓄積 ■ アバディ：CCS/CCUSの実施を含めFEEDに向けた取組みを継続 ■ アブダビ：生産能力の増強に向けた作業を継続 5月にオペレーターとしてBlock4の掘削作業開始 ■ 探鉱：アブダビ、イラク、ノルウェー、メキシコ湾等における探鉱活動の推進と、優先エリアにおけるスタディの継続及び新規探鉱鉱区の取得
事業目標（2） グローバルガス バリューチェーン の構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内：2020年12月期天然ガス販売量 20.7億m³ ■ 海外：アバディのFIDのためのマーケティング、天然ガス需要創出のための事業具体化に向けた取組みを継続 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内：天然ガス販売量見通し 21.5億m³ 日本海ガス、桐生瓦斯、上越市ガス水道局とのカーボンニュートラルガス売買契約を締結 ■ 海外：需要創出のための事業に向けた取組みを継続、イクシスLNGを用いたカーボンニュートラルLNGの供給及び直江津基地での受け入れ
事業目標（3） 再生可能エネルギー の取組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ インドネシアにおけるサルーラ地熱IPPプロジェクトは330MWで運転中 ■ 秋田県能代市・三種町・男鹿市沖における洋上風力発電事業実施を目指すコンソーシアムに参加 ■ メタネーションの基盤技術開発事業を実施中 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地熱発電事業の推進、風力発電事業への積極的な参入 ■ 長崎県五島市沖における浮体式洋上風力発電事業実施に向けたコンソーシアムに参画、選定事業者に決定 ■ メタネーションの基盤技術開発事業を完了、段階的にスケールアップへ

中期経営計画2018-2022の進捗及び今期見通し②

		2019年3月期 (実績)	2019年12月期 (実績) (9ヶ月決算)	2020年12月期 (実績)	2021年12月期 (見通し)	2022年12月期* (目標)
前提条件	ブレント原油価格 (米ドル/バレル)	70.86	64.27	43.21	65.1	60.00
	為替 (円/米ドル)	110.93	108.66	106.77	108.9	110.00
経営目標指標	売上高	9,713億円	10,000億円	7,710億円	11,340億円	13,000億円程度
	親会社株主に帰属する 当期純利益	961億円	1,235億円	△1,116億円	1,700億円	1,500億円程度
	ROE	3.2%	4.1%	△3.9%	5%後半	5%以上
事業目標	ネット生産量 (原油換算、日量)	42.4万バレル	58.6万バレル	57.3万バレル	57.1万バレル	日量70万バレル
株主還元・ 資金配分	成長投資額	4,884億円	2,432億円	1,808億円	2,500億円程度	1兆7,000億円 (5年間累計ガイダンス)
	1株当たり年間配当金	24円	30円	24円	40円	<ul style="list-style-type: none"> 1株24円を下回らないよう安定的に配当を実施 業績の成長に応じて段階的に1株あたりの配当金を引き上げて、株主還元を強化 配当性向30%以上
	配当性向	36.5%	35.5%	純損失のため 該当なし	34.4%	

* 中期経営計画最終年度

2021年12月期 第2四半期 決算説明

INPEX

取締役 常務執行役員
財務・経理本部長 山田大介

	2020年12月期 第2四半期 (2020年1月-6月)	2021年12月期 第2四半期 (2021年1月-6月)	増減	増減率
売上高 (億円)	3,916	4,983	1,067	27.2%
原油売上高	2,463	3,753	1,290	52.4%
天然ガス売上高 (LPG含む)	1,382	1,148	△ 234	△ 16.9%
その他	71	82	11	15.7%
営業利益 (億円)	1,237	2,236	998	80.7%
経常利益 (億円)	1,492	2,198	705	47.3%
親会社株主に帰属する純損益 (億円)	△1,207	519	1,727	-
1株当たり*純損益 (円)	△82.73	35.60	118.33	-

期中平均油価 (Brent) (\$/bbl)	42.10	65.23	23.13	54.9%
期中平均為替 (¥/\$)	108.25	107.82	0円43銭円高	0.4%円高

* 期中平均株式数 (連結) 2021年12月期第2四半期 : 1,460,205,381株

	2020年12月期 第2四半期 (2020年1月-6月)	2021年12月期 第2四半期 (2021年1月-6月)	増減	増減率
売上高 (億円)	2,463	3,753	1,290	52.4%

販売量 (千bbl)	60,894	55,454	△ 5,440	△ 8.9%
海外平均単価 (\$/bbl)	37.27	62.71	25.44	68.3%
国内平均単価 (¥/kl)	31,382	45,004	13,622	43.4%
平均為替 (¥/\$)	108.41	107.92	0円49銭円高	0.5%円高

地域別販売量 (千bbl)	2020年12月期 第2四半期 (2020年1月-6月)	2021年12月期 第2四半期 (2021年1月-6月)	増減	増減率
日本	335 (53.2千kl)	273 (43.5千kl)	△ 61 (△9.8千kl)	△ 18.3%
アジア・オセアニア	7,209	7,685	476	6.6%
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	8,486	8,083	△ 403	△ 4.8%
中東・アフリカ	42,925	38,002	△ 4,923	△ 11.5%
米州	1,940	1,411	△ 529	△ 27.2%
合計	60,894	55,454	△ 5,440	△ 8.9%

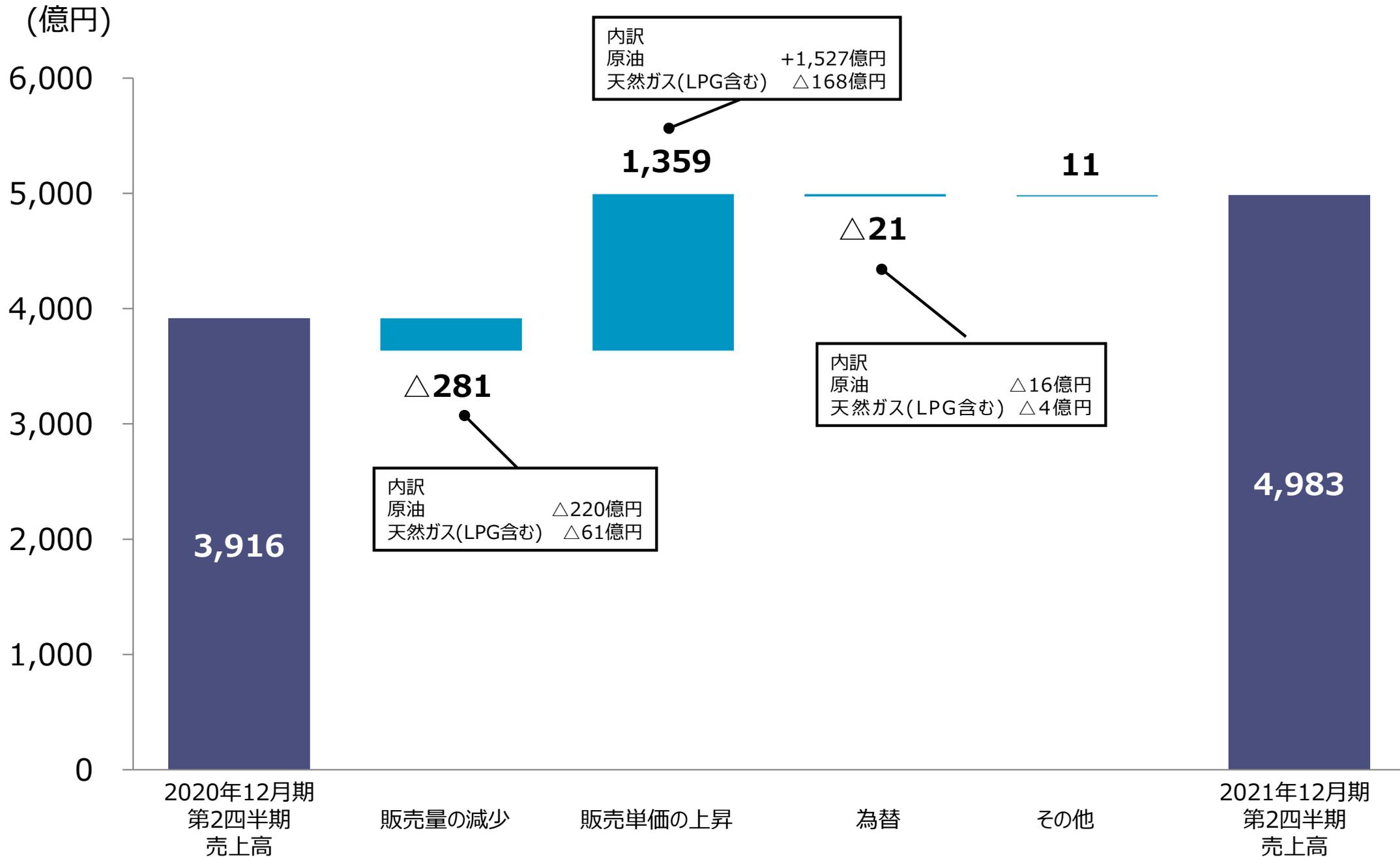
	2020年12月期 第2四半期 (2020年1月-6月)	2021年12月期 第2四半期 (2021年1月-6月)	増減	増減率
売上高 (億円)	1,367	1,133	△ 234	△ 17.2%

販売量 (百万cf)	222,856	203,293	△ 19,562	△ 8.8%
海外生産分平均単価 (\$/千cf)	4.17	3.84	△ 0.33	△ 7.9%
国内分平均単価 (¥/m ³)	50.65	41.04	△ 9.61	△ 19.0%
平均為替 (¥/\$)	108.45	107.72	0円73銭円高	0.7%円高

地域別販売量 (百万cf)	2020年12月期 第2四半期 (2020年1月-6月)	2021年12月期 第2四半期 (2021年1月-6月)	増減	増減率
日本	39,826 (1,067百万m ³ *)	42,663 (1,143百万m ³ *)	2,837 (+76百万m ³ *)	7.1%
アジア・オセアニア	168,905	147,078	△ 21,827	△ 12.9%
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	4,853	4,685	△ 168	△ 3.5%
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	9,272	8,868	△ 405	△ 4.4%
合計	222,856	203,293	△ 19,562	△ 8.8%

*1m³当たり41.8605MJ

2021年12月期第2四半期 売上高 増減要因分析



(億円)	2020年12月期 第2四半期 (2020年1月-6月)	2021年12月期 第2四半期 (2021年1月-6月)	増減	増減率
売上高	3,916	4,983	1,067	27.2%
売上原価	2,260	2,337	77	3.4%
売上総利益	1,656	2,646	989	59.7%
探鉱費	46	22	△ 24	△ 51.4%
販売費及び一般管理費	371	386	14	4.0%
営業利益	1,237	2,236	998	80.7%
営業外収益	453	367	△ 86	△ 19.1%
営業外費用	199	405	206	103.7%
経常利益	1,492	2,198	705	47.3%
特別損失（減損損失）	1,924	-	△ 1,924	△ 100.0%
法人税等合計	782	1,760	977	124.9%
非支配株主に帰属する純損益	△ 6	△ 81	△ 75	-
親会社株主に帰属する純損益	△ 1,207	519	1,727	-

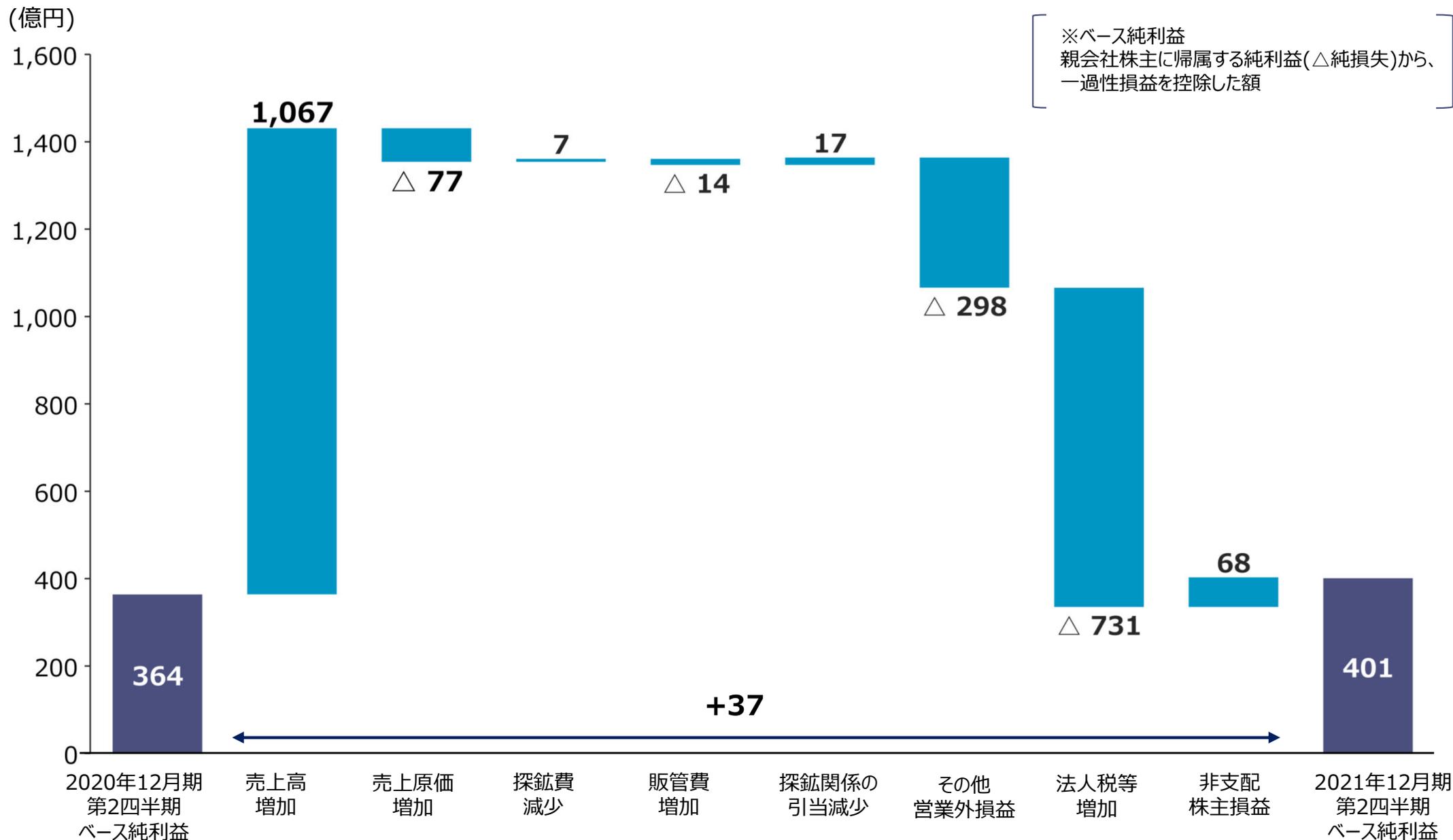
販売量の減少	△281
販売単価の上昇 為替	+1,359
△21	
その他	+11

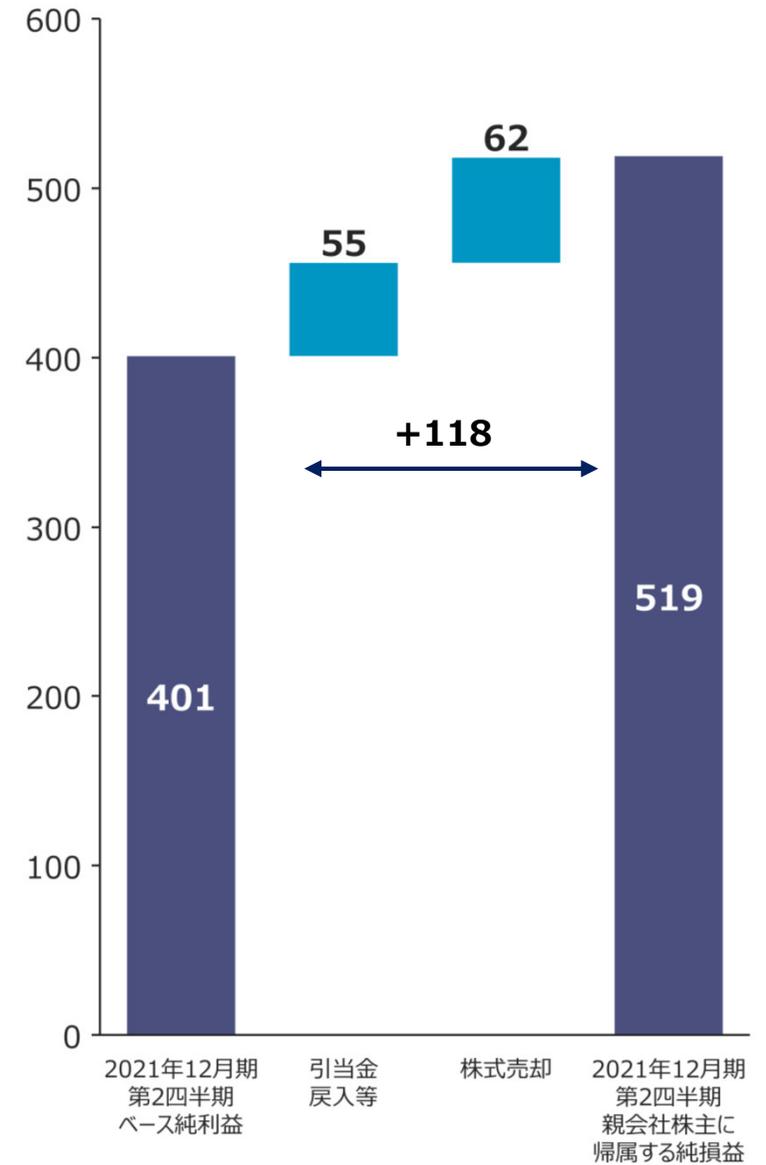
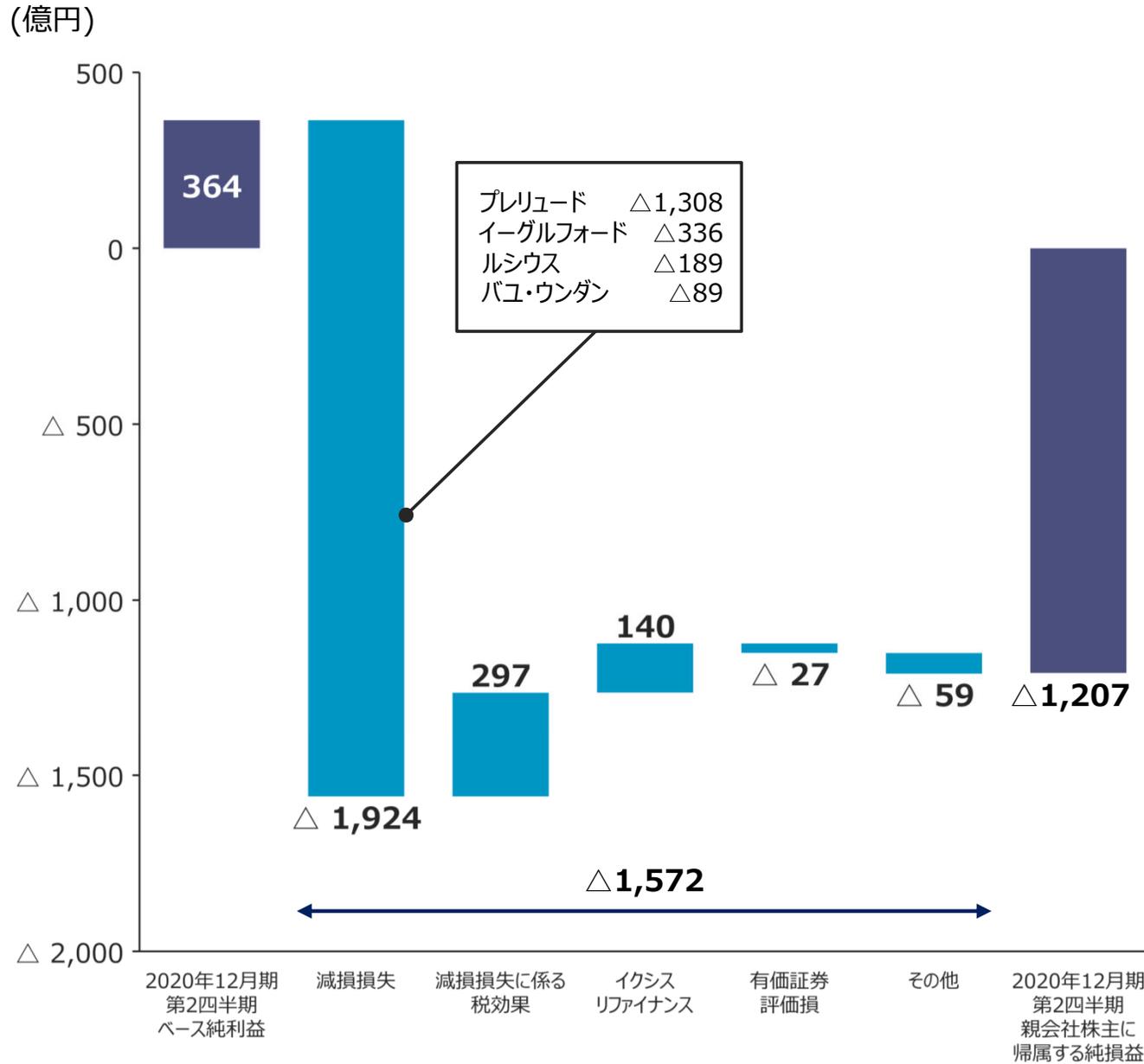
原油売上原価： （増減）	1,592 +209
天然ガス売上原価（注）： （増減）	680 △138
（注）LPGを含む。	

主な要因	
受取利息	（増減+138）
持分法による投資利益 為替差益	（増減△ 307） （増減△37）

主な要因	
持分法による投資損失 為替差損	（増減+129） （増減+106）

2021年12月期 第2四半期 ベース純利益 増減要因分析





(億円)	2020年12月期末	2021年12月期 第2四半期末	増減	増減率
流動資産	3,870	4,238	367	9.5%
有形固定資産	20,697	21,850	1,152	5.6%
無形固定資産	4,418	4,493	75	1.7%
生産物回収勘定	5,755	5,614	△ 141	△ 2.5%
その他	12,297	13,170	873	7.1%
生産物回収勘定引当金	△ 694	△ 650	43	△ 6.3%
資産合計	46,345	48,716	2,371	5.1%
流動負債	3,392	2,780	△ 612	△ 18.1%
固定負債	12,938	14,028	1,089	8.4%
純資産	30,013	31,907	1,893	6.3%
(うち非支配株主持分)	2,647	2,618	△ 29	△ 1.1%
負債・純資産合計	46,345	48,716	2,371	5.1%
1株当たり純資産額 (円)	1,874.08	2,005.80	131.72	7.0%

イクス下流事業会社（持分法適用）の要約財務情報（100%ベース、内当社株式比率は66.245%）

・流動資産	1,280億円
・固定資産	3兆6,408億円
・総資産	3兆7,689億円

※固定資産にはFID前投資、借入金の支払利息分等が含まれる

うち、長期・短期借入金の合計1.1兆円。
これに、オフバランスのイクス下流事業会社分を加えた当社のネット借入金概算（21年6月末）は約2.1兆円。

株主資本合計	+348億円
その他の包括利益累計額	+1,574億円
・繰延ヘッジ損益	+146億円
・為替換算調整勘定	+1,424億円

(億円)	2020年12月期 第2四半期 (2020年1月-6月)	2021年12月期 第2四半期 (2021年1月-6月)
税金等調整前四半期純損益	△ 431	2,198
減価償却費	888	772
減損損失	1,924	-
生産物回収勘定（資本支出）の回収額	148	282
生産物回収勘定（非資本支出）の増減額（△は増加）	△ 12	△ 6
法人税等の支払額	△ 1,214	△ 1,278
その他	432	△ 183
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,735	1,786
定期預金の預入による支出/払戻による収入	△ 541	-
有形固定資産の取得による支出	△ 682	△ 635
有価証券・投資有価証券の取得による支出/売却による収入	8	160
生産物回収勘定（資本支出）の支出	△ 189	△ 136
長期貸付けによる支出/回収による収入	△ 254	△ 19
権益取得による支出	-	△ 14
その他	△ 19	△ 12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,677	△ 658
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,240	△ 1,254
現金及び現金同等物の期末残高	3,031	1,713

2021年12月期 業績予想

INPEX

取締役 常務執行役員
財務・経理本部長 山田大介

■ 前提条件

(2021年5月13日)	第2四半期連結累計期間 (前回発表予想)
Brent 油価 (\$/bbl)	60.7
為替レート (円/US\$)	107.1



(2021年8月10日)	第2四半期連結累計期間 (実績)
Brent 油価 (\$/bbl)	65.2
為替レート (円/US\$)	107.8

■ 第2四半期連結累計期間 業績予想値と実績値との差異 (2021年1月～6月)

	前回発表予想 (2021年5月13日)	実績値	増減	増減率
売上高 (億円)	4,840	4,983	143	3.0%
営業利益 (億円)	2,060	2,236	176	8.5%
経常利益 (億円)	2,010	2,198	188	9.4%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	450	519	69	15.3%

■ 前提条件

(2021年5月13日)	上期 (1-6月)	下期 (7-12月)	通期
Brent 油価 (\$/bbl)	60.7	60.0	60.3
為替レート (円/US\$)	107.1	108.0	107.5



(2021年8月10日)	上期 (1-6月)	下期 (7-12月)	通期
Brent 油価 (\$/bbl)	65.2	65.0	65.1
為替レート (円/US\$)	107.8	110.0	108.9

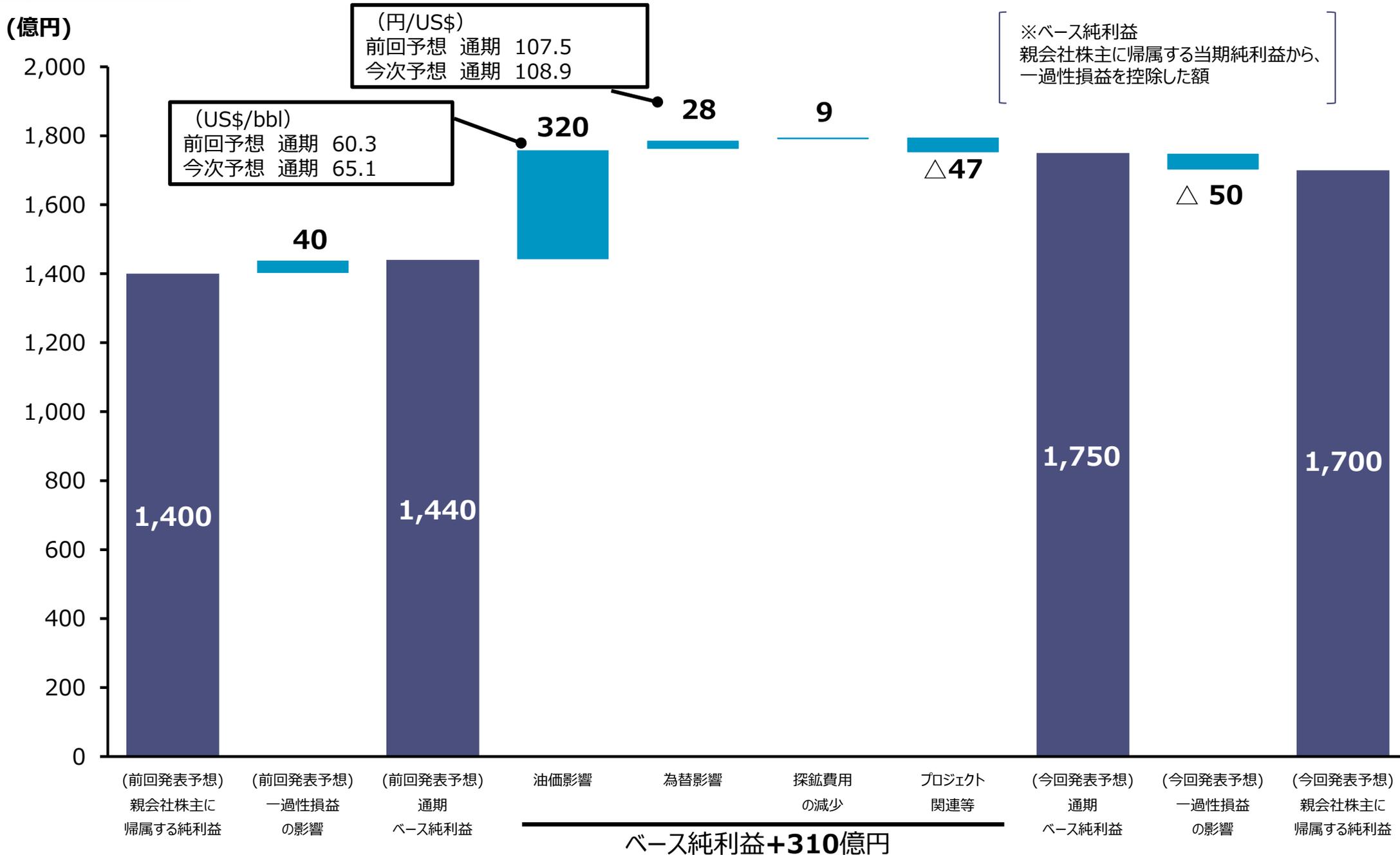
■ 連結通期業績予想(2021年1月～12月)

	前回発表予想 (2021年5月13日)	今回発表予想 (2021年8月10日)	増減	増減率
売上高 (億円)	10,550	11,340	790	7.5%
営業利益 (億円)	4,520	5,130	610	13.5%
経常利益 (億円)	4,830	5,450	620	12.8%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	1,400	1,700	300	21.4%

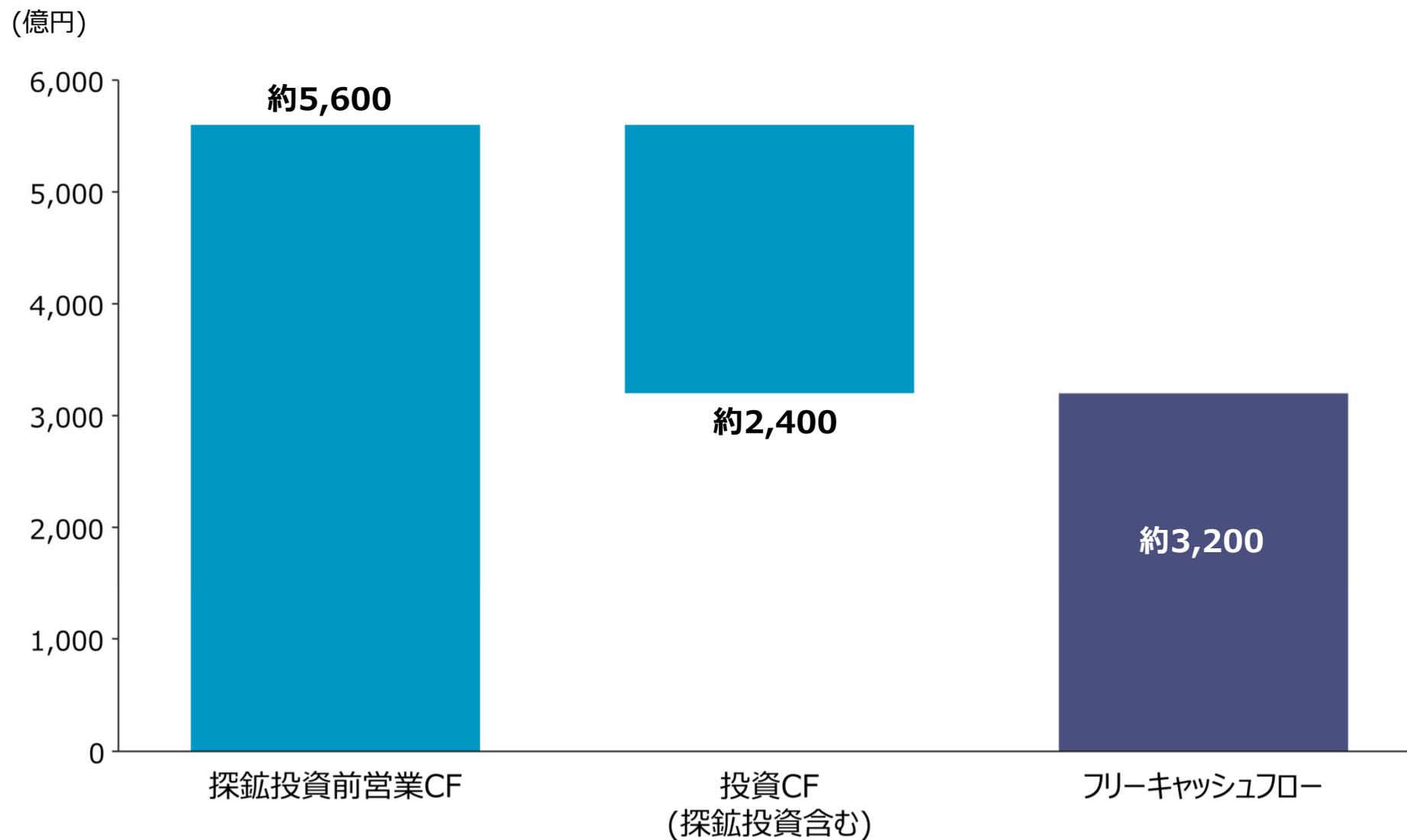
■ 1株当たり配当金

第2四半期末	期末 (予想)	年間配当金 (予想)
20円00銭	20円00銭	40円00銭

2021年12月期通期業績予想 当期純利益 増減要因分析



▶ 今期は3,200億円程度のフリーキャッシュフロー*を確保する見込み。



* 持分法適用会社であるイクシス下流事業会社を含む